

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月30日	作成者名	新井 俊行	評価者名	栃本 由兼
-----	------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	消防本部・消防本部総務課
分野	01 消防・救急	関係課	消防本部・警防課
施策	28 消防体制の充実		消防本部・予防課
			消防署・消防第1課
消防署・消防第2課			
施策の目的	大規模災害や特殊災害発生等に備えて、消防施設及び資材等を充実するとともに、消防職員、消防団員のスキルアップを図ることにより市民が安心して生活できるよう、消防体制の充実を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	消防職員研修事業
取り組み②	消防団厚生事業
取り組み③	消防車両の整備事業
取り組み④	大規模災害用対応資器材整備事業
取り組み⑤	デジタル通信システム整備事業
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
消防団員に対する教育	消防団員教育への年間受講率 (受講者数÷消防団員実員数)	%	85	80	81.3	86.1	87.8		
消防団員の加入促進	団員定数に対する実員数 (実員数÷定数)	%	90	70	89.5	87.9	91.1		
潜水隊員の養成	潜水隊1隊6名で3隊編成 (潜水隊員数)	人	18	15	15	18	21		
その他施策の取組事項に係る成果	職員教育としては、消防大学校2名、県消防学校の10課程に延べ18名、救急に係る専門教育に延べ49名、消防技能講習13課程に延べ26名、団員教育として県消防学校の3課程に6名が研修を修了した。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<ul style="list-style-type: none">老朽化した車両の更新整備と大規模災害等に対応できる資器材の充実が必要である。職員の大量退職に伴う一時的な消火活動能力の低下が懸念され、知識・技術の伝承はもとより現場対応能力の向上が求められている。就業構造の変化等により男女ともに消防団員の確保が難しい状況である。人口増加に対応した消防体制の強化が求められている。	対応策	<ul style="list-style-type: none">老朽化した消防車両や消防資機材の更新整備を進めるとともに、最新の資機材を導入し消防体制の充実強化を図る。教育機関への入校、病院実習、免許等の資格取得を実施し、個人及び組織的に技能の向上を図る。消防団の充実強化を図るため、消防団への入団促進及び優遇制度の導入等を進め、入団しやすい環境整備を行う。消防体制の強化を図るため、消防職員の増員を計画的に進める。
----	---	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	消防体制の充実を図るため、必要な消防職員数として139人から168人に条例定数を改正することとした。消防整備としては、消防車両の更新整備を始め大規模災害時に必要となるの消防資器材の充実整備を図った。また、潜水隊員の育成を積極的に行い、3名の新たな潜水隊員が潜水業務に加わった。消防団は、年間で11人の入団を得ることができた。
A		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	消防職員の増員を図り、消防体制の充実強化を進めていく。また、増員を図るために必要となる、消防施設の改修及び救急車の新規導入を進める。そのほか高機能消防通信指令センターが構築から5年が経過し、電子部品等の対応年数を向かえたことから、部分的な更新を令和2年度に実施する。
↑		

(評価者コメント)

消防車両整備や消防資器材の整備については効果的に事業を進めることができた。また、各種災害に対応した訓練についても、消防職、団員ともに実りある訓練を行うことができ、引き続き災害対応の強化を図っていく。 また、消防職員定数の改正については、人口の増加及び現在の消防業務(需要)の状況を踏まえ消防力の充実強化が必要であり、国が示す消防力の整備指針に則り図っていく。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月30日	作成者名	新井 俊行	評価者名	柄本 由兼
-----	------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性				R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源																		
		事業 区 分	R 2 計 画 額	H30決算額		評価結果						事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度	コメント																				
				R1予算額		事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性																								
				事業費	うち一般財源																														
02 消防事務費 (消防本部総務課)																																			
	01	01	09	01	01	02	01	消防事務費		9,454	1	A	A	B	A	1	B	消防関係機関との協 力体制の確立を継続 して進めていく。	0																
								10,639																											
								9,532																											
								9,249																											
								消防業務の全般的な事業として、臨時職員の雇用、消防協		6,004																									
03 消防委員会費 (消防本部総務課)																																			
	01	01	09	01	01	03	01	消防委員会費		172	1	A	A	B	B	1	義		0																
								317																											
								321																											
								321																											
						市長の諮問に応じ、消防力の整備に関する事項、消防施		1,296																											
04 消防職員厚生費 (消防本部総務課)																																			
	01	01	09	01	01	04	01	消防職員厚生事業		25,073	1	A	A	A	B	1	義		0																
								22,787																											
								15,992																											
								15,992																											
						深夜勤務従事者(潜水業務従事者含む)及び救急業務従事		1,365																											
05 消防職員研修費 (消防本部総務課)																																			
	01	01	09	01	01	05	01	消防職員研修事業		8,075	1	○	A	A	A	A	1	○	義	消防専門知識・技術の習得及び必要免許、資格等の取得を積極的に進める。	0														
								10,119																											
								11,000																											
								11,000																											
						救急救命士養成所における資格取得のための専門知識・技		1,365																											
06 消防管理費 (消防本部総務課)																																			
	01	01	09	01	01	06	01	消防管理費		66,145	2	B	B	B	B	2	義	職員増員の対応として、消防施設の整備を進める。また、女性職員の環境整備も併せて行う。	0																
								88,344																											
								71,425																											
								71,425																											
						①消防施設に関する各種業務委託等 ②消防施設の維持		1,501																											
09 警防活動費 (消防本部総務課)																																			
	01	01	09	01	01	09	01	警防活動費		5,590	1	A	B	B	B	1	義		0																
								5,525																											
								5,525																											
								5,525																											
						水災及び地震等の災害時における消火及び救急、救助活		1,365																											
	94	01	09	01	01	09	94	大規模災害用対応資器材整備事業		6,581	1	○	B	A	A	B	1	○	A	大震災発生時に対応できる資器材の導入を図り、積極的に対応訓練を実施していく。	0														
								7,085																											
								3,644																											
								3,644																											
						平成31年度 水上バイク一式、除染シャワーテント一式		2,388																											
01 消防団運営活動費 (消防本部総務課)																																			
	01	01	09	01	02	01	01	消防団運営活動事業		15,727	1	A	A	A	A	1	義		0																
								16,947																											
								18,644																											
								18,644																											
						・団員報酬、費用弁償等支給 ・分団運営交付金の交付		3,480																											

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月30日	作成者名	新井 俊行	評価者名	栃本 由兼
-----	------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源			
		事業コード		R 2 計 画 額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度			コメント		
		事業内容					H30決算額	R1予算額	施策への貢献度	経費水準							事業手法	受益・負担の公平性
							事業費	うち一般財源										
	90			0											0			
		01	09 01 03 02 90	0											0			
		平成21年度から新曽第一 土地区画整理地内の公園予定		15,000	1		-	-	-	-	1							
				15,000														
				2,047														
計 (千円)				事業費	239,106										0			
				うち一般財源	239,106										0			

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
7 令和2年度で終了 8 令和元年度で終了 9 平成30年度で終了